

# 広島県経済の動向

令和8年5月20日

商工労働局

## 目 次

1	経済動向の概要	1
	（1）国内経済の動向	
	（2）広島県経済の動向	
2	県内主要製造業の生産動向	3
	（1）鉄鋼	
	（2）自動車	
	（3）造船	
	（4）一般機械	
	（5）電気機械	
3	中小企業の動向	5
	（1）概況	
	（2）景況感・景況感の変化	
	（3）前月から変化のあった主な業種	
4	企業倒産状況	7
	（1）概況	
	（2）業種別	
	（3）原因別	
	（4）今後の見通し	
5	最近の雇用失業情勢	8
	（1）県内の有効求人・求職の動向	
	（2）県内の新規求人・求職の動向	
	（3）県内の人員整理の状況	
	（4）完全失業率の状況（全国・県内）	

（注）「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

# 1 経済動向の概要

## (1) 国内経済の動向

### ア 概要

指 標	令和8年		
	2月	3月	4月
基調判断	景気は、米国の通商政策の影響が残るものの、緩やかに回復している	景気は、穏やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある	
輸 出	おおむね横ばいとなっている		
生 産	横ばいとなっている		
設備投資	持ち直している		
雇用情勢	改善の動きがみられる		
個人消費	持ち直しの動きがみられる ただし、消費者マインドがこのところ弱い動きとなっていることに注意が必要である		
住宅建設	弱含んでいる		
消費者物価	このところ上昇テンポが緩やかになっている	このところ緩やかに上昇している	
企業収益	米国の通商政策の影響が残るものの、改善の動きがみられる		

### イ 先行き

雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和8年4月23日公表）】

## (2) 広島県経済の動向

### ア 概要

指 標	令和8年		
	2月	3月	4月
基調判断	緩やかな回復基調にある		
輸 出	持ち直しの動きが みられている	緩やかに持ち直している	
生 産	緩やかに持ち直している		
設備投資	増加している		
雇用・ 所得	緩やかに改善している		
個人消費	緩やかな回復基調にある		
住宅投資	下げ止まっている		
消費者物価 (除く生鮮食 品、広島市)	前年を上回っている	1%台後半のプラスとなっている	

### イ 県内の経済の先行き

今後の中東情勢の展開や原油価格の動向などが、企業の生産や賃金・価格設定行動、個人消費の動向など、県内の金融経済情勢に与える影響を注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」(令和8年5月12日公表)】

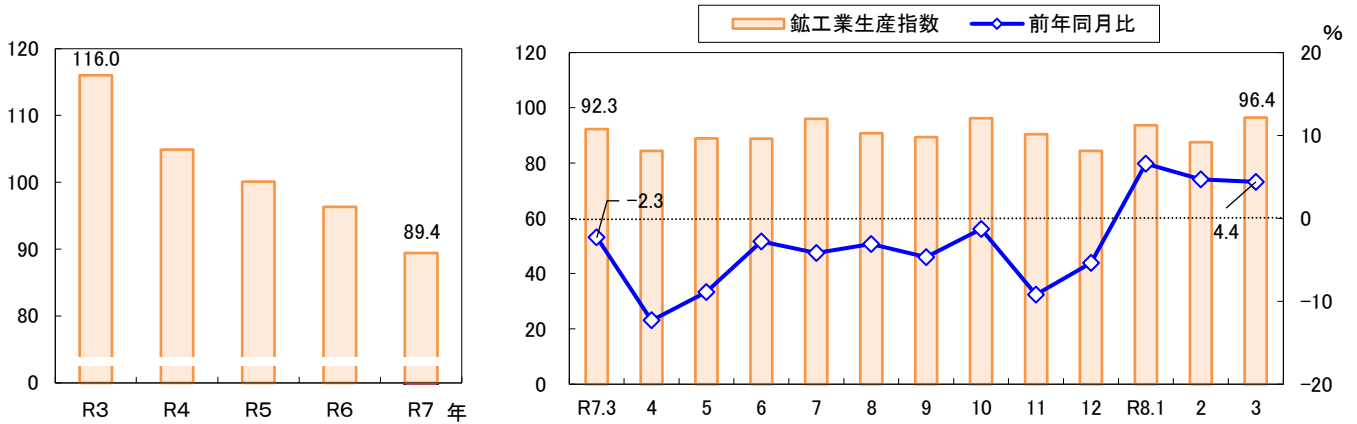
## 2 県内主要製造業の生産動向

### (1) 鉄鋼 (令和8年3月)

3月の鉱工業生産指数(鉄鋼業、原指数、速報値、令和2年=100)は96.4で、前年同月比で4.4%増加となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

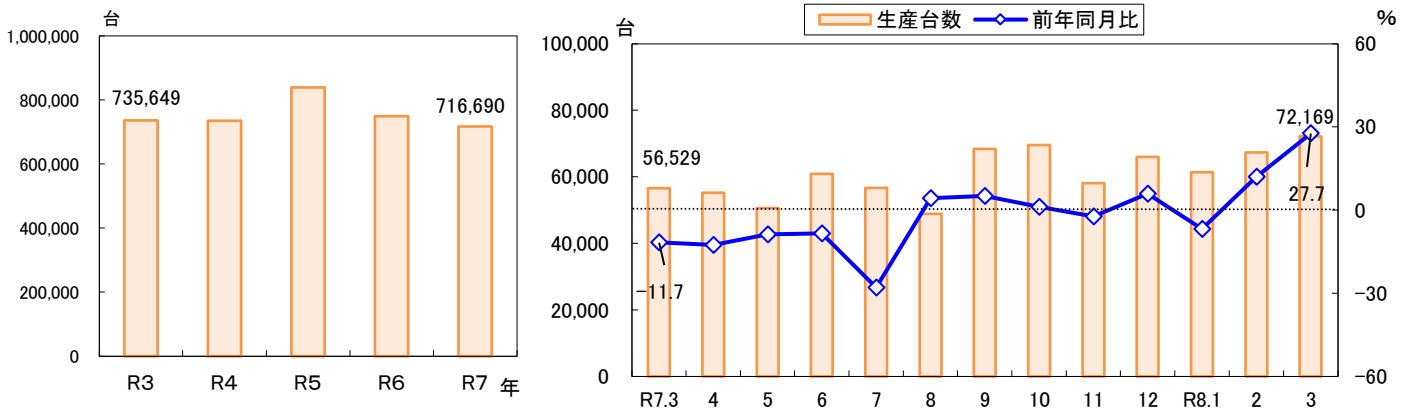


### (2) 自動車 (令和8年3月)

3月の国内生産台数は72,169台で、前年同月比で27.7%増加となっている。

自動車生産台数(年別、月別・前年同月比)

【マツダ(株)】

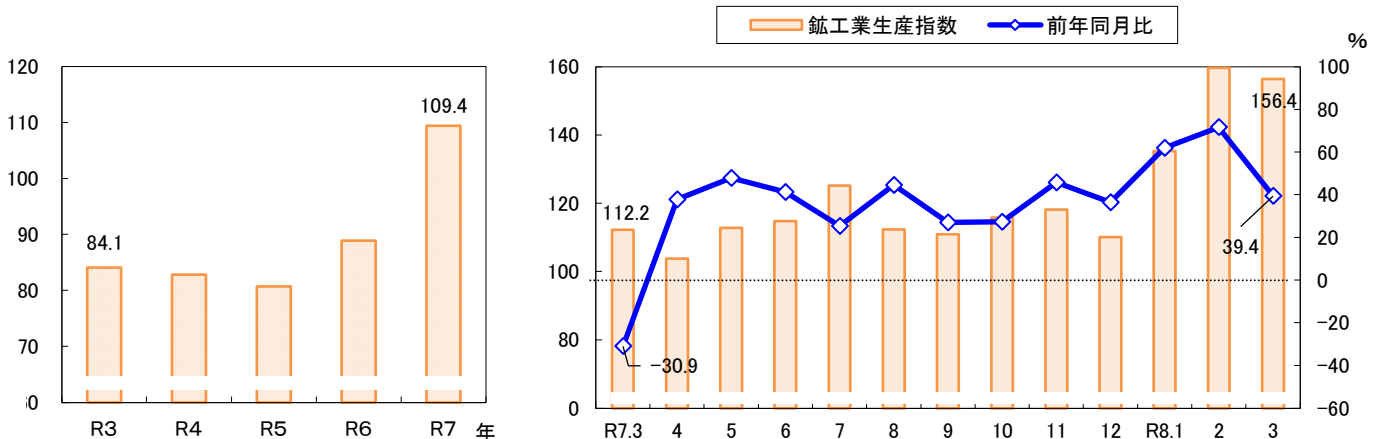


### (3) 造船 (令和8年3月)

3月の鉱工業生産指数(造船部門、原指数、速報値、令和2年=100)は156.4で、前年同月比で39.4%増加となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

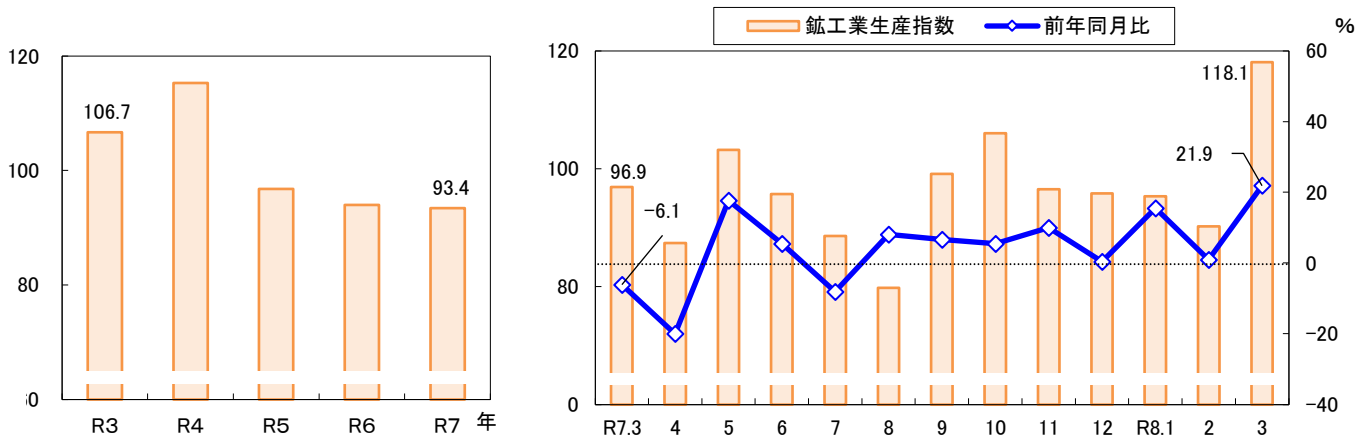


(4) 一般機械 (令和8年3月)

3月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)、原指数、速報値、令和2年=100)は118.1で、前年同月比で21.9%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械工業(総合))(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

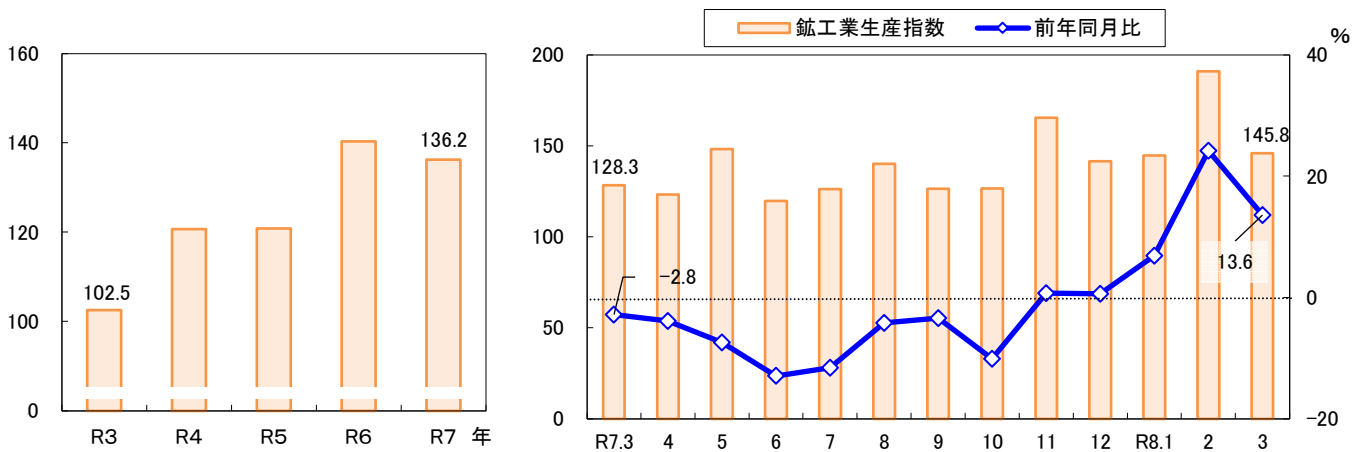


(5) 電気機械 (令和8年3月)

3月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)、原指数、速報値、令和2年=100)は145.8で、前年同月比で13.6%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】



### 3 中小企業の動向（令和8年3月）

【広島県中小企業団体中央会（令和8年4月15日時点）】

#### （1）概況

中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰により、原材料費や燃料費が上昇し、県内の中小企業を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増している。石油由来の原材料や資材の調達が難航する状況も見られ、今後の生産や事業活動への影響が懸念されている。さらに、製品価格の上昇に伴う需要の減退を心配する声も多く、為替変動や金利上昇の影響も重なり、先行きは依然として不透明な状況にある。

自動車関連業種では、3月の国内自動車販売台数は前年同月比▲1.8%と3か月連続して減少。マツダ車は前年同月比▲6.8%となった。また、木材業界では、3月の全国新設住宅着工戸数は63,495戸で前年同月比▲29.3%。県内の3月の着工戸数は1,156戸で、前年同月比▲46.9%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「3月の生産・販売状況について」に基づく

※木材業界に関する記載は、国土交通省が公表する「建築着工統計調査報告」及び広島県がホームページに掲載する「新設住宅着工戸数」の3月分のデータに基づく

#### （2）景況感・景況感の変化

業種	2月の景況感	3月の景況感
食料品	普通	普通
繊維・衣服	やや好況	普通
木材	やや悪い	普通
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや好況	やや好況
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	普通	普通
土石製品	悪い	やや悪い
鉄鋼（铸件）	やや悪い	やや悪い
金属製品	やや悪い	やや悪い

業種	2月の景況感	3月の景況感
一般機械器具	普通	やや悪い
電気機械器具	やや悪い	やや悪い
自動車部品	普通	普通
造船	普通	普通
建設	普通	やや悪い
トラック輸送	普通	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	普通
小売	普通	やや悪い
情報サービス	普通	普通

（単位：業種）

景況感	2月	3月	増減数
好況	0	0	0
やや好況	2	1	▲1
普通	9	8	▲1
やや悪い	8	11	▲3
悪い	1	0	▲1

(3) 前月（2月）から変化のあった主な業種

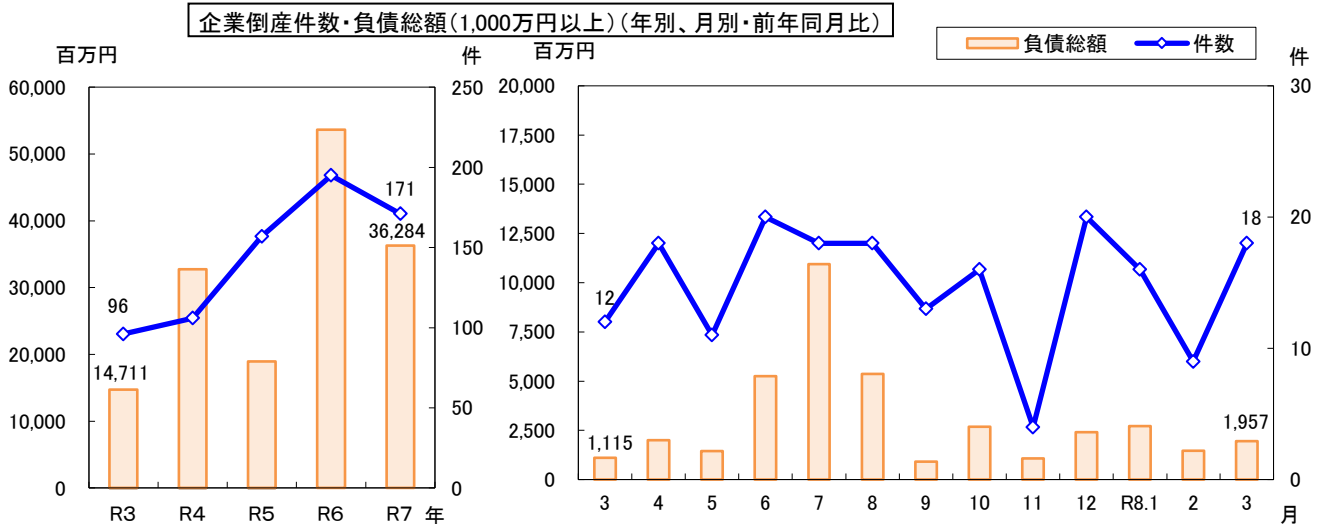
業種	2月の景況感	3月の景況感	変化の理由・状況
トラック 輸送	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"><li>・当月の売上高は前月比、前年同月比ともに減少となった。</li><li>・軽油価格は米国とイランの間の緊張関係が続くとの見方からイラン産原油の供給懸念が生じており、値上がりとなった。</li></ul> <p><b>【広島東部トラック運送事業協同組合】</b></p>

## 4 企業倒産状況（令和8年3月）

### （1）概況

負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が18件、総額19億5,700万円であった。前月比では、件数が9件、負債総額は4億8,300万円、それぞれ増加した。前年同月比でも、件数が6件、負債総額が8億4,200万円、それぞれ増加した。大型倒産（負債総額10億円以上）は0件であった。

区 分	令和8年1月	令和8年2月	令和8年3月
件 数 (前年同月比)	16件 (100.0%増)	9件 (30.8%減)	18件 (50.0%増)
負債総額 (前年同月比)	2,719百万円 (109.8%増)	1,474百万円 (16.4%減)	1,957百万円 (75.5%増)



### （2）業種別

件数は、運輸・通信業、卸・小売・飲食業、サービス業が各4件、建設業が3件、その他が2件、製造業が1件であった。

負債総額は、卸・小売・飲食業、建設業、サービス業、運輸・通信業、その他、製造業の順となった。

### （3）原因別

原因別では、販売不振が14件、他社倒産余波が2件、既往のシワ寄せが1件、その他が1件であった。

### （4）今後の見通し

令和8年3月度の倒産件数は18件、負債総額は19億5,700万円で、件数、負債総額は2年ぶりに増加となった。業歴別倒産状況では30年以上が6件、20年以上が3件、10年以上が5件となり、業歴10年以上の倒産が全体の77.7%を占め、前月2月度では業歴10年以上の倒産が全体の100%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が14件で最多となり、既往のシワ寄せは1件、売掛金等回収難は0件で、これらを合計した不況型倒産は15件で全体の83.3%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は3月度18件中2件発生し、これまでの累計は322件（負債総額1,000万円未満、弁護士一任・準備中を除く）となった。ただ、代表者の急逝を要因とした倒産が2件発生しており、後継者不在や高齢化が企業経営を行き詰らせる要因となった。

新型コロナウイルス感染症拡大に始まり、海外紛争や円安、物価高、働き方改革による労働管理など経済情勢は逐次変動しており、企業経営への影響も少なくはない。過去、広島県内では企業の構成比としてサービス業他が多く、倒産件数としてもサービス業他の割合が高い傾向にあったが、ここ1年以内では建設業の倒産が増加傾向にある。3月度としては運輸業が最多であったものの、建設業は次いで上位となるなど傾向は続いている。

3月度の倒産件数は18件となったが、法的倒産には至っていないものの、事業停止となった企業は複数散見されており、実質的な倒産件数は多数内包されている。更には後継者不足や先行きの見通しが立たない企業が、休業業を検討する時代となっている。

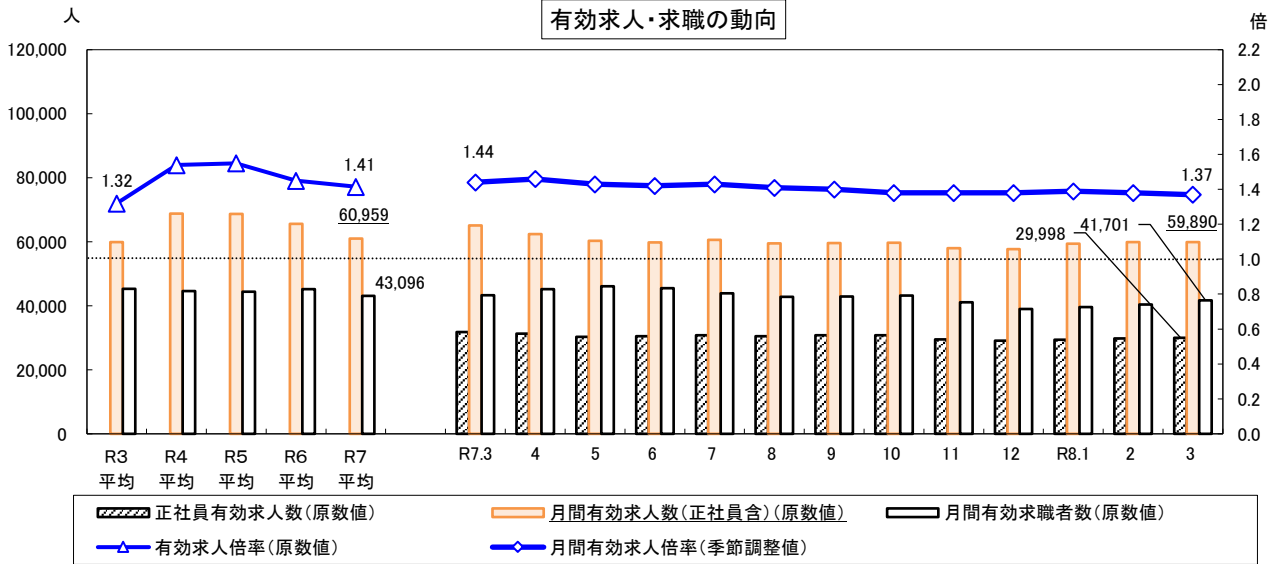
近年では企業のベースアップや原材料高騰が続いており、商品やサービス価格に転嫁する企業も増えてきているものの、近時では更なる国際的な紛争による原油コストや運搬コストの高まりが予想され、企業の生き残りはより苦戦を強いられる状況下にある。仕入、販売ともに国内マーケットに依存した経営が続けば海外情勢の変動への対応力が後手に回ってしまうため、国内であれば県外進出、国外への目を向けるなど幅広い視野を持つことが今後の課題と言える。

## 5 最近の雇用失業情勢（令和8年3月）

### （1）県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和8年1月	令和8年2月	令和8年3月
有効求人倍率〈季節調整値〉 (前月比)	1.39倍 (+0.01ポイント)	1.38倍 (▲0.01ポイント)	1.37倍 (▲0.01ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.26倍 (▲0.03ポイント)	1.26倍 (▲0.05ポイント)	1.23倍 (▲0.04ポイント)

【広島労働局】

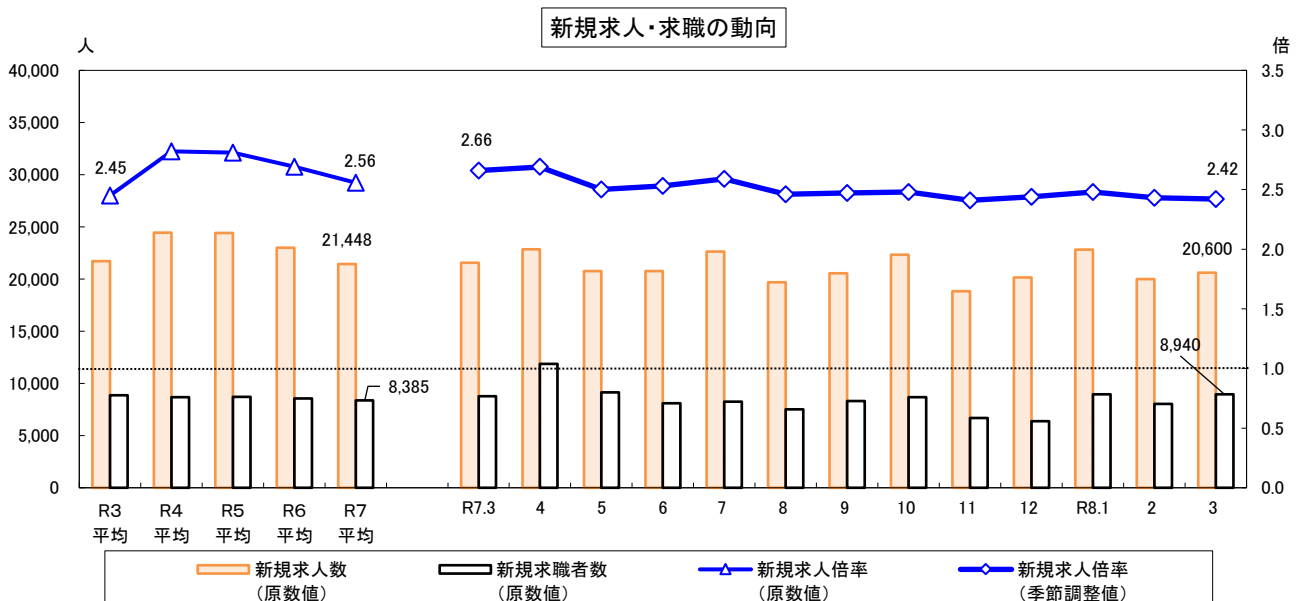


- (注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人人数をパートタイムを除く常用有効求職者数（派遣労働者や契約社員を希望する者も含む）で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。
- (注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。
- (注3) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。

### （2）県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和8年1月	令和8年2月	令和8年3月
新規求人倍率〈季節調整値〉 (前月比)	2.48倍 (+0.04ポイント)	2.43倍 (▲0.05ポイント)	2.42倍 (▲0.01ポイント)

【広島労働局】

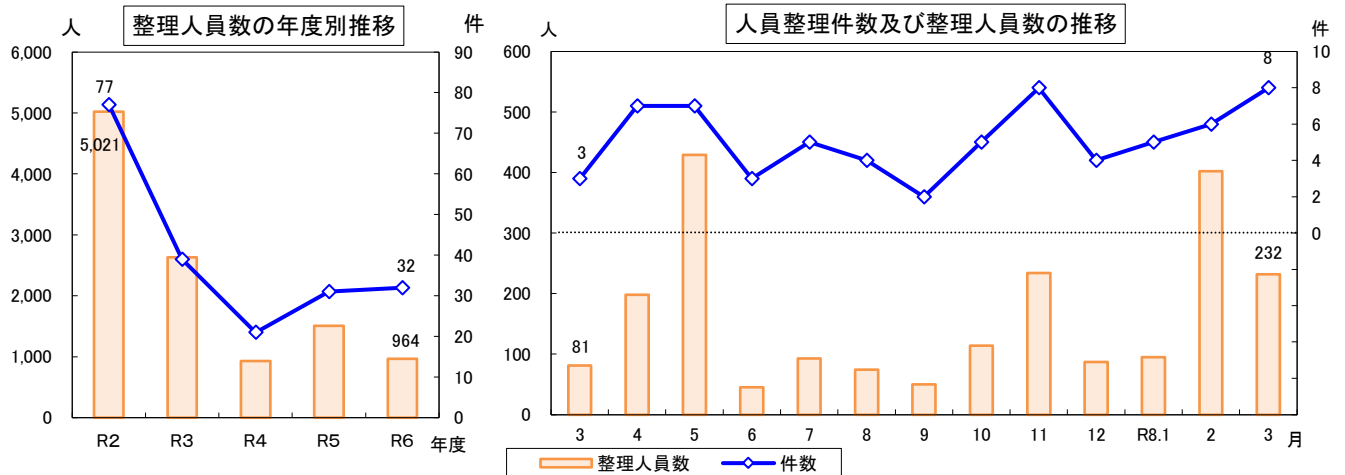


- (注) 季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。

(3) 県内の人員整理の状況（整理人員10人以上）

区 分	令和8年1月	令和8年2月	令和8年3月
件数 (前年同月比)	5件 (+3件)	6件 (+3件)	8件 (+5件)
整理人員 (前年同月比)	95人 (+54人)	402人 (+257人)	232人 (+151人)

【広島労働局】



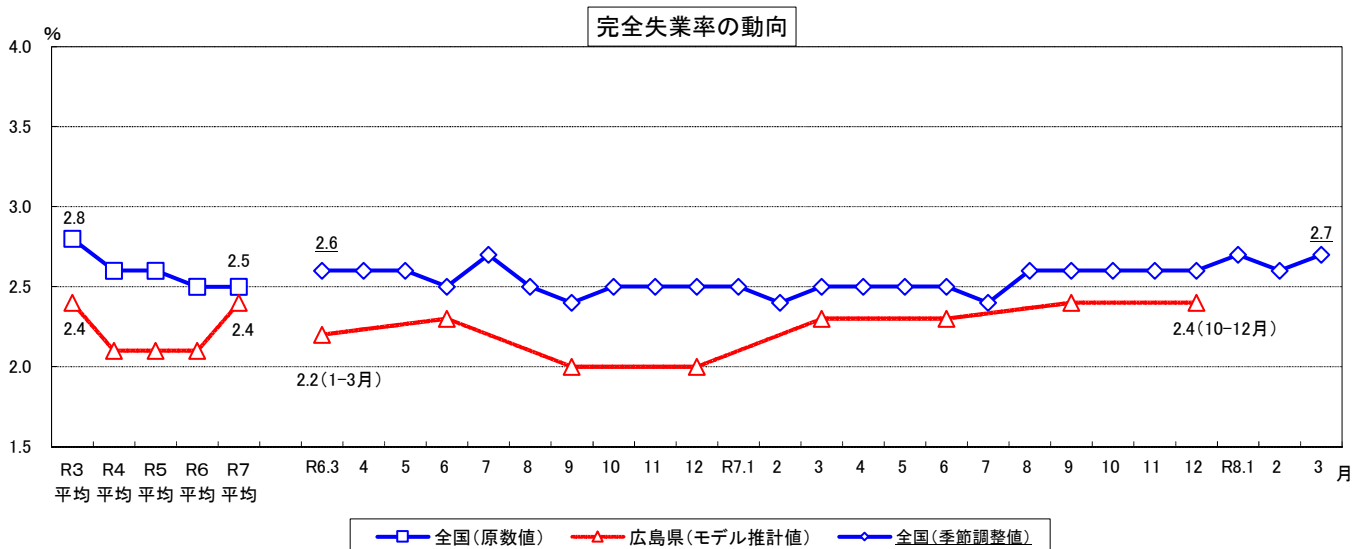
(4) 完全失業率の状況（全国・県内）

区 分	令和8年1月	令和8年2月	令和8年3月
全国完全失業者数 (前年同月比)	179万人 (+16万人)	180万人 (+15万人)	194万人 (+14万人)
全国完全失業率〈季節調整値〉 (前月比)	2.7% (+0.1ポイント)	2.6% (▲0.1ポイント)	2.7% (+0.1ポイント)

区 分	令和7年		
	4～6月平均	7～9月平均	10～12月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.3% (±0.0ポイント)	2.4% (+0.4ポイント)	2.4% (+0.4ポイント)

【総務省統計局】



- ※ 全国完全失業率の季節調整値は毎年1月分公表時に過去に遡って改訂される。
- ※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去に遡って一部改定している。